



右からストロコちゃん、ストロコくん、フロッカ、イエロー

「スポーツを考える会」(町体育連盟主催)が2月23日、町公民館で開催され約70人が参加しました。「子ども「ロコ」って何?」と題し、社会医療法人北斗新得クリニックの計良基治院長が講演をしました。講演では、高齢者が寝たきりや要介護状態になってしまう原因の一つとして考えられている「ロコモティブシンドローム(略称・ロコモ)」の予備軍としての子ども「ロコモ」について「今の子ども達は転んだ時に手をつけないで顔を打ってしまふなど運動器不全の子が多い。将来的に寝たきりなどにならないためにも、子どもの頃から「ロコモ対策が必要」と話し、NPO法人全国ストロップザロコモ協議会のゆるキャラ「ストロコくん」と「ストロコちゃん」が参加者に子ども「ロコモ」体操を伝授していました。



5月と8月に観戦バツイアーを予定
北海道日本ハムファイターズ新得後援会設立総会が2月10日、町公民館で開催され入会希望者32名が集まりました。昨年、大谷翔平投手が10勝した際に、さほろ酒造の十勝無敗を差し入れたことがきっかけで、町民の機運が高まったことにより後援会が設立されました。後援会事業として5月と8月に観戦バツイアーを予定しています。会員を随時募集中で、入会にはオフィシャルファンクラブへの入会(年会費3300円)と後援会年会費1000円が必要。問い合わせは、商工労働係の鈴木まで(64-10522)



手話を身近に!
町商工会青年部が手話講習会
新得町商工会青年部(根本健史部長)が3月4日、町商工会館で手話講習会を行い、部員ら18名が参加しました。この取り組みは、手話条例が施行されたのを機に昨年度から実施され、今回で2回目。講師は厚生協会の伏見景子さんと高橋一博さんが務めました。久しぶりに開催された手話講習会とあって部員らは、手話を使うのに悪戦苦闘していました。中にはテキパキとあいさつや自己紹介をこなす人もいました。根本部長は「今後も続けていきたい」と意欲的に話していました。



写真左から2番目が吉岡さん

父親の仲間作りを
おやし達の子育て学習会
「おやし達の学習会〜お父さん、お母さんも一緒に考えましょう!!」が2月19日、町公民館で開かれ、教育関係者ら15人が参加しました。講師として、父親ネットフック北海道事務局長の吉岡亜希子さんを迎え、「われらは子どもを応援!子どもを元気にするお父さん達の取り組み」と題して、講演が行われました。吉岡さんは「自分ひとりでは親になることは難しい。仲間がいて、語り合っただけで親としての自分自身、子育て親や我が子の姿が見えてくる」と語りました。講演後の意見交流では、それぞれの立場から父親の子育てについて活発な意見交換が行われました。

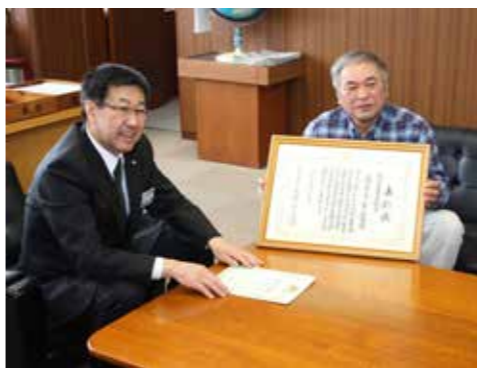
農業の振興や農村の活性化に顕著な功績
新得町レディースファームスクール協議会が

「功績区分」
農業・農村振興功労者

平成27年度北海道産業界貢献賞(農業関係功労者)の「農業・農村振興功労者」区分で新得町レディースファームスクール協議会が受賞し、2月3日の表彰式にて道副知事より表彰を受け、その報告として2月15日に同協議会太田義正会長が町長室を訪れました。同協議会は受入農家14戸で構成されています。

新得町立レディースファームスクールは、平成8年に開校し、現在20期生を受入中。今まで長期修了生16人を輩出し、その半分近くが道内に在住しています。今年4月には、21期生を迎えますが、16人の応募があり、そのうち14人を受け入れる予定となっています。

「農村に若い人が行くことは良いこと。農村が明るくなる。これからは続けていかなければ」と太田会長は決意を語り、「農家さんの我慢、女性の我慢、我慢の中で20年間やってきた。経営の中で受入なので苦労が多かったと思うが、農家の受け入れがなければ成り立たなかった」と浜田町長は話していました。

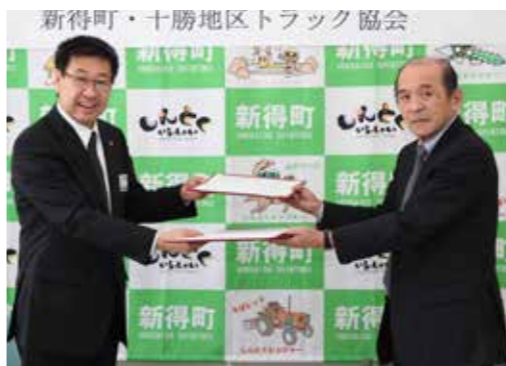


受賞報告をした太田会長(右)と町長

「事績の概要」
平成8年の「新得町立レディースファームスクール」開校とともに、研修生受入農家で本協議会を設立し、20年にわたって農業技術指導のみならず、研修生と地域住民の交流に中心的な役割を担ってきた。こうした取組の結果、卒業生の多くが道内に定住・就農するなど、本道農業の担い手問題の解消とともに、会員農家が牽引することで地域農業の発展に寄与するなど、地域農業・農村の振興に多大な貢献をした。

非常時に心強い協定
緊急時における輸送業務等に関する協定調印式

新得町と一般社団法人十勝地区トラック協会は2月15日、「緊急時における輸送業務等に関する協定」を結びました。同協会は、平成27年度中に全市町村と協定を結び予定です。この協定では、災害発生時に各自自治体の要請を受け、食料品や衣料品など緊急物資の輸送を同協会が優先的にを行います。浜田町長は、「トラック協会の方と協定を結べたのは心強い。これからも非常時の対応と一緒に協力してもらいたい」と述べ、梶副会長は、「地位住民の生命・財産を守るために精一杯活動したい」と決意を述べました。



トラック協会梶副会長(右)と町長

火災拡大を防止
郵便局配達員2人に感謝状

2月13日に発生した建物火災において初期消火活動により火災拡大を防止したとして、新得郵便局配達員の貞本茂樹さんと湯田恭平さんに3月2日、浜田正利町長から感謝状が贈呈されました。貞本さんは火元である住宅への配達の際に炎を発見し、消防署に連絡、応援に駆けつけた同僚の湯田さんと共に消火活動を行いました。



貞本さんは、「消火活動中は無我夢中といった感じ。大事に至らなくて良かった」と話し、湯田さんは、「火は怖いもの。何もなくて良かった」と話していました。浜田町長は、「町民の財産の損失を未然に防いでいただきありがたい」と感謝を述べました。